

# 事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)



公益財団法人九州経済調査協会  
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

## 平成 29 年度 事業報告

定款第 5 条に基づき、平成 29 年度は、以下の事業を実施した。(総括)

<p>1. 創立 70 周年記念事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 九州地域経済と九経調の 70 年史の作成</li><li>(2) 「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究</li><li>(3) 九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催</li><li>(4) ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供</li><li>(5) 募金活動の状況</li></ul>
<p>2. 地域経済研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 自主研究事業<ul style="list-style-type: none"><li>①2018 年版 九州経済白書の刊行</li><li>②月報等定期刊行物の発行</li><li>③幹事会からの提案による自主研究</li><li>④その他の事業</li></ul></li><li>(2) 受託研究事業</li><li>(3) 九経調地域研究助成・顕彰事業</li></ul>
<p>3. 講演会・セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等<ul style="list-style-type: none"><li>①九州経済白書説明会</li></ul></li><li>(2) 定例の講演会・セミナー<ul style="list-style-type: none"><li>①九経調交流会</li><li>②研究報告会</li><li>③アジア経済講演会</li><li>④調査技法セミナー</li><li>⑤経済講演会</li><li>⑥九経調地域研究助成・顕彰事業研究発表会</li></ul></li><li>(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント<ul style="list-style-type: none"><li>①イブニングセミナー</li><li>②共催セミナー</li><li>③経営・スキルアップセミナー</li><li>④地域応援セミナー</li><li>⑤九州国立博物館応援セミナー</li><li>⑥サイエンスカフェ</li><li>⑦ビズコリクラブ</li><li>⑧文化セミナー</li><li>⑨アートイベント</li><li>⑩ビズコリテック</li><li>⑪新しいまちづくりセミナー</li><li>⑫アフタヌーントーク (旧・女性セミナー)</li></ul></li><li>(4) 外部主催の講演会・セミナーへの協力</li></ul>
<p>4. 経済図書館 (BIZCOLI) 事業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) BIZCOLI の利用状況</li><li>(2) 企業・団体との共同展示</li></ul>

5. 経済団体等支援事業

- (1) 福岡経済同友会からの事務局受託
- (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局
- (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局
- (4) 九州水フォーラム 2017 の事務局

6. 社会貢献活動等

- (1) 審議会・委員会への委員派遣
- (2) 大学への非常勤講師の派遣
- (3) テレビ・ラジオ等への出演
- (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載

7. 運営基盤の拡充

- (1) 会員数の維持・拡充
  - ①賛助会員 ②BIZCOLI 会員
- (2) 理事会、評議員会、幹事会の開催
- (3) 研究員の育成

## 1. 創立 70 周年記念事業の実施

### (1) 九州地域経済と九経調の 70 年史の作成

地域の未来を考える一助とするために、終戦から 70 年間の九州・沖縄・山口の経済社会と当会の創立から現在までをふりかえる「九経調 70 年のあゆみ -九州・沖縄・山口とともに-」の刊行の準備を進めた。年表や図表の作成、過去の研究レポート・記録写真の収集整理、関係者へのインタビュー等の作業を行った。

### (2) 「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究

平成 28 年度に引き続き、テーマに応じて、当該分野の識者を招聘しての未来セミナーを開催し、30 年後の未来に関する情報収集に努めた。平成 29 年 11 月には、金沢大学の林准教授らを招聘し「撤退の農村計画」について開催した。12 月には一橋大学の久保准教授による「文化人類学からみた人間と AI・ロボットの近未来」、平成 30 年 2 月には西南学院大学の本間教授らを招聘し「日本の農業の 30 年後を問う～新たな食料産業の構築に向け」を開催した。

このような研究会や文献調査と統計分析、ヒアリング調査を進め、【総論】【各論（地域編）】【各論（産業編）】の 3 部構成としてとりまとめる予定である。

#### ① 「30 年後に向けた九州地域発展戦略」構成案

##### 【総論】

##### I メガトレンド(大潮流)

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 人口減少・少子高齢化の進展         | 3. 成熟化する東アジア           |
| 2. データ主導型社会(AI・ロボット等)の到来 | 4. 世界的な自然災害/気候変動リスクの増大 |

##### II 九州が直面する危機、乗り越えるべき課題

- |                                   |                |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. 産業活動への影響                       | 4. 成熟する東アジアと九州 |
| 2. 消費市場への影響                       | 5. 地方・地域自治への影響 |
| 3. モビリティの変化とネットワーク<br>インフラストラクチャー |                |

##### III 九州発展のポテンシャル

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. 人口減、データ主導型社会の到来に対する<br>発想の転換 | 4. 九州発新素材の可能性      |
| 2. 教育改革による職業人材育成のポテンシャル         | 5. グローバルリスクに対する耐性力 |
| 3. “成熟したアジア”に近い九州の好機            |                    |

##### IV 2045 年への戦略と実現へのファーストステップ

1. 小括～めざすべき姿
2. 戦略、戦略実現へのステップ

##### 【各論(地域編)】

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 1. 都市     | 3. 広域ネットワークのあり方 |
| 2. 農山漁村空間 |                 |

## 【各論(産業編)】

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 農業      | 7. 観光産業    |
| 2. 水産業     | 8. 情報サービス業 |
| 3. 製造業     | 9. 航空・宇宙産業 |
| 4. 建設業     | 10. 海洋産業   |
| 5. 医療・介護   | 11. 水ビジネス  |
| 6. 流通・サービス |            |

## ②九経調未来セミナー（計3回）

九経調未来セミナーは30年後の九州を考えるセミナーである。今年度は山間地や農業、ロボットをテーマに3回開催した。

回・日時・会場	テーマ	講師	参加者数
第6回 11月2日(木) アクア博多	撤退の農村計画「少し引いて勝機を待つという考え方」 無居住化に向き合う住民：京丹後市の事例	金沢大学人間社会研究域人間科学系 准教授 林直樹氏 特定非営利活動法人 TEAM 旦波（たにわ） 佐々木哲平氏	42人
第7回 12月11日(月) 電気ビル共創館	文化人類学からみた人間とAI・ロボットの近未来	一橋大学大学院社会学研究科 准教授 久保明教氏	51人
第8回 2月2日(金) ホテルニューオータニ博多	日本の農業の30年後を問う ～新たな食料産業の構築に向けて 民間農業ビジネススクール AGSA の挑戦	西南学院大学経済学部教授・東京大学名誉教授 本間正義氏 (株)アグリガーデンスクール&アカデミー 代表取締役社長 堂脇広一氏	67人

## (3)九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催

大分、佐賀、宮崎の3都市で開催した。地域の特徴や課題にあわせて、観光・サービス業の活性化やICTの活用、コンパクトシティをテーマとして取り上げ、多くの方に参加頂いた。

日時・会場 共催機関	テーマ	講師	参加者数
【大分】 6月8日(木) 大分オアシスタワーホテル (株)大分銀行、(株)大銀経済経営研究所	未来をつくるイノベーション 観光・サービス産業の成長と発展～生産性向上がもたらすもの	「観光・サービス産業の成長と発展」 ＜基調講演＞：一橋大学イノベーション研究センター特任教授/ 法政大学大学院教授/日本元気塾塾長 米倉誠一郎氏 ＜パネルディスカッション＞ ジャクール(株) 代表取締役 後藤玄利氏 モバイルクリエイイト(株) 代表取締役 村井雄司氏 (一財)日本経済研究所 専務理事 鍋山徹氏 当会 調査研究部 片山次長	124人

<b>【佐賀】</b> 11月30日(木) マリトピア (株)佐賀銀行	ICTの進化によって社会はどう変わるのか  “ICT活用先進県佐賀”の未来を探る	「“ICT活用先進県佐賀”の未来を探る」 <基調講演>: アクセンチュア(株) 取締役相談役 程近智氏  <パネルディスカッション> 木村情報技術(株) 代表取締役 木村隆夫氏 (株)オプティム 取締役 友廣一雄氏 佐賀大学 理事・副学長 寺本憲功氏 アクセンチュア(株) 取締役相談役 程近智氏	102人
<b>【宮崎】</b> 2月22日(木) 宮崎観光ホテル (株)宮崎銀行、 (一財)みやぎん経済研究所	未来の年表～人口減少宮崎でこれから起きること  宮崎県ならではの戦略的コンパクトシティとは	「戦略的に創るコンパクトシティ」 <基調講演>: 産経新聞社論説委員 河合雅司氏 <トークセッション> NHK報道局チーフプロデューサー 大鐘良一氏 (一財)みやぎん経済研究所 杉山智行氏	150人

#### (4) ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供

昨年度に引き続き、①ビッグデータの活用による早期かつ精緻な県別景気動向の提供サービスと、②位置情報ビッグデータの活用によるインバウンド観光の1kmメッシュ単位での経済効果情報の提供サービス、③宿泊予約サイトwebデータ等を用いた宿泊施設の日次稼働予測システムの開発に向けて作業を進めた。

①については、物流関連企業との間でデータ活用に関する協議を行い、九州大学情報基盤研究開発センターのサーバーを活用しながら、ビッグデータの分析手法の確立に向けて作業を進めた。

②については、1kmメッシュ単位での宿泊消費額の推計を目指し、宿泊予約サイトを活用して全国の宿泊ビッグデータ収集を開始した。

③については、長崎大学と早稲田大学との共同研究により、福岡県を中心に複数の宿泊施設の参加を得て、宿泊商品売予測システムと収益管理システムの開発を進めた。

最終的には、これらの3つのシステムと、システム構築で活用する民間企業の未利用ビッグデータや行政のオープンデータを統合したデータベースを作成・公開し、九州の経済動向を一元化したデジタルデータのプラットフォームの構築を目指している。

#### (5) 募金活動の状況

平成29年度末時点の募金活動の状況は次のとおりである。

- ・ 募金目標額 1億円
- ・ 募集期間 平成28年4月1日～平成32年3月31日
- ・ 依頼先数 70社
- ・ 寄附承諾 59社/1億220万円

## 2. 地域経済研究事業

### (1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①2018年版 九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」を中心に取り組んだ。

#### ①2018年版 九州経済白書の刊行

##### 『スマホ時代の新しい消費と流通』 平成30年2月 刊行

九州経済白書は、2月1日に「スマホ時代の新しい消費と流通」のタイトルで公表。九州・沖縄・山口12会場にて説明会を実施し、計875名に会場いただいた。

2010年代のスマホの普及に象徴される「多くの情報を、いつでも、どこでも、手軽に扱える」ことを通じた環境と社会の変化を「スマホ時代」の到来と位置づけ、人口減少とスマホ時代の到来が、消費と流通に与えるインパクトについて検討した。統計分析やアンケート調査、ヒアリング調査をもとに、スマホ時代の新しい消費と流通に対応していく上では、人材の確保と育成、データ経営の導入、感動体験を通じた売り手と買い手の関係性の深化がキーワードとなることを指摘した。

#### ②月報等定期刊行物の発行

##### 1) 九州経済調査月報

上期は社会的関心の高いテーマの特集化に力を入れ、シェアリングビジネス(7月号)や地方創生を意識した地域ブランディング(8月号)、九州の文化芸術(9月号)にも取り組んだ。下期は恒例の九州経済の見通しに加え、人口減の中で地域の持続可能性を維持する上で重要となるテーマに重点を置いた。例えば、11月号は国内外で需要が増大する一方で担い手不足や再造林問題が顕在化する森林・林業・木材産業を特集した。3月号では「居住地域の高齢化対応」特集として、山間地とニュータウンを対象に高齢化対応のむら・まちづくりについて提言している。

7月号の「“民泊”解禁による地域経済への影響の展望」、9月号の「都道府県別文化産業の経済規模の推計」、3月号の「ニュータウン地域における高齢化の現状」には、特に大きな反響が寄せられた。

5月号 4月28日 (金) 発行	<b>特集 九州の地域研究</b> (Report) 2016年度九経調地域研究助成・顕彰事業概要と審査結果、研究発表会 潜在的就業女性達のキャリア開発が創業拡大にもたらす社会的価値の試算 ユニバーサルデザインが生み出す市場と経済性 「着地型観光」による離島・半島の地域活性化と次世代モビリティが果たす 役割についての検討
6月号 6月2日 (金) 発行	<b>特集 人口減少下の教育機関再編</b> (Report) 九州における小中学校の再編状況 人口減少・少子化の下で地域密着化する高校・大学の現状 (One point) 2040年までの九州・山口の人口構造の変化と高齢化
7月号 6月30日 (金) 発行	<b>特集 シェアリングビジネス</b> (Report) シェアリング市場の拡大とビジネス・チャンス “民泊”解禁による地域経済への影響の展望～福岡市を例に (連載) アグリプレナーの実践(16) 地域農業の全てを引き受ける受け皿づくり 価値創造の源流(39) 西日本技術開発㈱
8月号 8月1日 (火) 発行	<b>特集 地域ブランディング</b> (Report) 「一村一品運動」が示唆する地方創生と地域ブランディング 九州における地域製品のブランド化に向けた動向 (連載) 価値創造の源流(40) 石橋工業㈱
9月号 9月1日 (金) 発行	<b>特集 九州の文化芸術</b> (Report) 歴史・文化を通じた地方創生～「かるた」によるシビックプライドの醸成 都道府県別文化産業の経済規模の推計 地域における博物館について～文化の有する経済的効果をめぐって (連載) 九経調創立70周年事業 大分県の未来を考えるシンポジウム 観光・サービス産業の成長と発展～生産性向上がもたらすもの 九州の文化・芸術(1) よみがえった馬人形～宇賀神社の取り組み アグリプレナーの実践(17) 効率的なビニールハウスでパブリカの国内栽培を実践
10月号 10月3日 (火) 発行	<b>特集 九州の景気を読む</b> (Report) 2017年度九州経済の見通し(改訂) 景気トピックス (One point) 産業のボーダーを彷徨う「その他」サービス産業の存在感と成長力 (連載) 価値創造の源流(41) エネフォレスト㈱
11月号 10月31日 (火) 発行	<b>特集 転換期を迎えた森林・林業・木材産業</b> (Report) 木材需要拡大期における九州の原木流通構造の変化 九州の再造林問題 森林経営計画策定の地域性と制度課題～認定率と計画種類について (連載) 価値創造の源流(42) 竹下産業㈱ (柳川市)
12月号 12月1日 (金) 発行	<b>特集 九州の不動産</b> (Report) 九州の土地取引の変化 福岡のオフィスマーケット動向～極端な供給不足の招いた未曾有の低空室率時代 (One point) 民泊施設への不動産投資収益を左右する条例制定進捗状況 (連載) 九州の文化・芸術(2) 世界文化遺産・三角西港 デザイン思考で会社を変える!(1) 知財情報を活用したビジネス戦略、ブランド戦略

1月号 12月27日 (水) 発行	<b>特集 九州の新たな1年</b> (Report) 2018年九州の論点 (連載) 第85回 イブニングセミナー講演録 山奥の小さな旅館が連日外国人客で満室になる理由 九州今昔物語(7) 山の中の海軍のまち 人吉球磨～錦町所在人吉海軍航空 基地跡の保全と活用の取り組み デザイン思考で会社を変える!(2) 知財の強みを最大化して可視化するビジネス モデルキャンパスの活用
2月号 1月31日 (水) 発行	<b>特集 九州経済の見通し</b> (Report) 2018年度九州経済の見通し 4年連続のプラス成長 平成29年度 経済講演会 講演録 地域再生と日本経済 (連載) 九州の文化・芸術(3) 天草陶磁器 デザイン思考で会社を変える!(3) デザイン企業力プログラムを考える座談会
3月号 3月5日 (月) 発行	<b>特集 居住地域の高齢化対応</b> (Report) 「わからない」からはじまる山間地の保険的なむらづくり ～死守でも諦めでもない第三のむらづくり ニュータウン地域における高齢化の現状 九経調創立70周年記念事業 九経調未来セミナー 講演録 無居住化に向き合う住民たち:京丹後市の事例 (連載) デザイン思考で会社を変える!(4) 「デザイン企業力養成プログラム」構想
4月号 4月5日 (木) 発行	<b>特集 災害への備え</b> (Report) ため池の減災、防災に必要なこと ～ ICTを用いたため池水位監視・予測への取り組み くまもとアトポリスを礎とした「痛みを最小にする」仮設住宅 九経調創立70周年事業 佐賀県の未来を考えるシンポジウム “ICT活用先進県佐賀”の未来を探る (連載) アグリプレナーの実践(18) 門川町高濃度トマト部会が目指す反収1,000万円の 農業

## 2) データ九州 (九州経済調査月報付録)

データ九州は、月報付録として1年に4回発行している。8月号では7年ぶりに「九州・山口市町村財政ランキングー市町村別決算状況 2005・2015年度ー」を発表し、10月号で「九州・山口の設備投資 2017 上半期 (1～6月)」、3月号で「九州・山口の海外進出」、4月号で「九州・山口の設備投資 2017 下半期 (7～12月)」についてとりまとめた。

8月号	データ九州 (No1160)	「九州・山口市町村財政ランキングー市町村別決算状況 2005・2015年度ー」
10月号	データ九州 (No1161)	「九州・山口の設備投資 2017 上半期 (1～6月)」
3月号	データ九州 (No1162)	「九州・山口の海外進出」
4月号	データ九州 (No1163)	「九州・山口の設備投資 2017 下半期 (7～12月)」

### 3) 2018年版 図説九州経済

九州・山口の経済を、図表やデータで分かりやすく解説したもので、毎年1回刊行している。2018年版は、冒頭の「九州経済サマリー」に図表を挿入することで、内容の充実とわかりやすさを向上させた。また、前年度に続き、前半の解説部分に、統計編の関連ページを記載することによりデータの照合を容易にした。

『2018年版 図説九州経済』

平成29年10月19日刊行

### 4) メールマガジン（九経調ニュースレター）

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月2回配信した他、当会主催・共催のセミナーや当会刊行物の案内を配信した。

メールマガジン配信件数143件（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

### ③幹事会からの提案による自主研究

幹事会からの提案を受け、今年度は「ITSが拓く地域経済活性化（仮題）」をテーマに自主研究を行った。調査対象を「物流」に絞り、当該分野における安全運行と労務改善、幹線輸送と末端輸送の効率化に寄与するITS活用方策を調査し、地域独自のITS活用方策を具体策に提案した。「アジア太平洋地域ITSフォーラム」（平成30年5月8～10日開催）にて成果報告を行った。

#### ◆『ITSが拓く地域経済活性化（仮題）』報告書構成

はじめに

第1章 我が国におけるITSの現状と地域活性化の方向性

第2章 物流事業者の労働環境改善と安全運行支援

第3章 物流シェアリングによる幹線輸送効率化

第4章 交通・配送インフラ情報の統合による末端輸送効率化

おわりに

### ④その他の事業

地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会などを行っている。

#### 1) 九州・山口地方銀行調査担当部長会議

昭和42年度より毎年2回、九州・沖縄・山口の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っており、平成29年度も同様に実施した。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加人数
7月13日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当 部長会議 (佐世保)	「地域課題解決に向けた IoT 技 術の活用について」	岡野部長 (講演)	15 人
12月7日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当 部長会議 (沖縄)	「道を生かす～既存道路ストッ クの活用のために」	岡野部長 (講演)	11 人

加盟機関

㈱FFG ビジネスコンサルティング	(公財)地方経済総合研究所	㈱りゅうぎん総合研究所
㈱ちくぎん地域経済研究所	㈱大銀経済経営研究所	㈱おきぎん経済研究所
㈱佐賀銀行総合企画部	(一財)みやぎん経済研究所	(一財)山口経済研究所
㈱長崎経済研究所	㈱九州経済研究所	(公財)九州経済調査協会

## 2) 地方シンクタンク協議会

当会は地方シンクタンク協議会に加盟しており、3回の会合に参加した。6月の会合では、当会は「福岡市の屋台問題の解決に向けての考察」を発表した。なお、九州・沖縄ブロックでは、今年度から(一財)南西地域産業活性化センターが加盟した他、1機関が退会した。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加人数
6月7日 (水)	総会・研究事例発表会・交流 会 (ちくぎん福岡ビル)	「福岡市の屋台問題の解決に向 けての考察」	八尋部長 (報告者) 田中副部長	13 人
11月22日 (水)	意見交換会 (筑邦銀行八女支 店)	「地域資源を活かした観光まち づくり」	八尋部長、田中副部長	10 人
3月15日 (木)	若手研究員交流会 (ちくぎん 福岡ビル)	「北九州フィルム・コミッシ ョンの取り組みについて」	八尋部長、田中副部長	15 人

九州・沖縄ブロック加盟機関

㈱よかネット	(公財)福岡アジア都市研究所	㈱ちくぎん地域経済研究所
(一財)南西地域産業活性化センター	(公財)九州経済調査協会	—

## 3) 国内主要会議、国際会議、意見交換会等

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加人数
5月31日 (水)	釜山・福岡の交流拡大に向け たシンポジウム [韓国:釜山広域市]	韓日間の連携を通じた人材の 育成及び活用	高木理事長、加峯次長、 大谷次長(報告)	46 人
8月29日 (火) ～9月1日 (金)	Open Living Lab Days 2017 in Krakow the 8 <sup>th</sup> edition [ポーランド:クラクフ]	Multiple Helix Innovation without Boundaries	原口研究員	300 人
8月30日 (水) ～31日 (木)	日韓海峡圏研究機関協議会 総会・研究会 [嬉野市]	少子高齢化への対応 II	高木理事長、大谷次長 (指定討論者)	41 人
9月1日 (金) ～2日 (土)	第12回福岡・釜山フォー ラム、福岡会議 2017 [福岡市]	全体テーマ「福岡・釜山を起 点とした日韓パートナー リング」	高木理事長 (第3セッ ション報告)、加峯次長	70 人
9月9日 (土)	日中国交正常化 45 周年シ ンポジウム [中国:長春市]	クルーズトレイン “ななつ つ星” と観光列車による 地域創生	大谷次長(報告)	60 人

## (2) 受託研究事業

平成 29 年度の受託研究として計 52 本のプロジェクトに取り組んだ。

内閣府による「地域別支出総合指数 (RDEI)」は、全国の県別月別 GDP の算出・発表をするもので、内閣府から全国に参考値が発表されている。同様に、景気ウォッチャー調査は、全国調査の九州担当となっており、景気動向分析に継続的に取り組んでいる。

また、地方創生関連では観光や林業などで具体的な事業化支援を行った。産業振興関連では、エネルギー分野と観光分野の調査が多く、医療・福祉分野では、地域包括ケアのモデルづくりや、IoT を活用したヘルスケア分野の産業づくり・しくみづくりに取り組んだ。

その他、港湾や幹線道路といった社会インフラの将来ビジョンづくり、人手不足の解消を企図した各種の雇用・人材関連調査にも取り組んだ。

### 「環黄海経済・技術交流大賞」の受賞

当会は、11 月 30 日に「環黄海経済・技術交流大賞」を受賞した。この賞は、環黄海地域内で先進的・模範的な取り組みを行う団体や企業等を、日中韓の三国共同で表彰するものである。受賞のきっかけとなったのは、平成 28 年度の日中韓における再生可能エネルギーに関する調査だったが、当会が 1990 年代から環黄海経済圏の研究を行ってきたことも評価された。

### 【分野別受託研究一覧】

(統計作成・分析)		
1	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府 政策統括官 (経済財政分析担当) 付 参事官室
2	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	㈱クープス
3	唐津地域短観作成支援業務	唐津市
4	景気ウォッチャー調査 (九州地域)	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング㈱ (内閣府)
(地方創生)		
5	にしきまると創造プロジェクト運営支援業務	錦町企画観光課
6	森林資源流通実態調査業務	日田市
7	壱岐市生涯活躍のまち基本指針・実施計画策定業務(人口及び移住定住に係るデータ分析業務)	福岡地域戦略推進協議会 (FDC)
(地域振興)		
8	筑後川における上下流関係についての調査分析業務	(公財)筑後川水源地域対策基金
9	久留米市新総合計画次期基本計画基礎調査業務	久留米市
10	九州経済を考える懇談会	(一財)九州地域産業活性化センター
11	地域政策デザイナー養成講座支援事業	地域政策デザイナー養成講座実行委員会
(産業振興)		
①環境・資源エネルギー		
12	太陽光発電設備保守点検事業者データベース作成業務	福岡県
13	K-RIP 環境エネルギー研究会の運営支援・業務請負	(一財)九州産業技術センター
14	平成 29 年度地域中核企業創出・支援事業(太陽光発電の 3R 事業化促進事業)	九州経済産業局

15	地域中核企業支援事業	(一財)九州地域産業活性化センター
16	福岡県再生可能エネルギー導入支援システムに係るデータ更新業務	福岡県エネルギー政策室
17	自然エネルギーの普及と促進に係る事業(グリーン電力基金事業)	九州環境エネルギー産業推進機構
18	スマート保安プラットフォーム FS 調査	(一社)OSTi
②観光		
19	うきは市森林・温泉連携による健康産業創出事業業務委託	うきは市
20	福岡県観光動態調査業務	福岡県商工部観光局
21	波照間島における大型宿泊施設の実現可能性調査	竹富町政策推進課
22	総合特別区域事後評価書等の作成支援業務	(一社)九州観光推進機構企画部
23	平成 29 年クルーズ船寄港地観光実態調査	福岡市
24	八代港におけるクルーズ船寄港地ツアー実態調査事業	熊本県商工観光労働部
25	宿泊施設誘致の方向性等検討業務委託	福岡市経済観光文化局
26	日本遺産「関門」ノスタルジック"海峡" マーケティング調査業務	関門海峡日本遺産協議会
③農林水産・食料品		
27	県内中山間地域における農業集落等実態調査	熊本県農林水産部
28	輸出向け農産物開発・ブランド化に向けたアジアでの実態調査事業に関する役務請負	九州経済産業局
29	農業分野における IoT ニーズ調査・ワークショップ業務	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団
④医療・福祉		
30	高齢社会課題解決に向けた共創拠点の構築	(国研)科学技術振興機構
31	平成 29 年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市保健福祉局
32	生活支援サービス創造事業支援業務委託	(社福)福岡市社会福祉協議会
33	健康日本 21 福岡市計画中間評価報告書作成支援業務	福岡市保健福祉局
34	IoT を用いた運動行動変容のためのプログラム開発：フレイルの観点から	(国研)日本医療研究開発機構
35	ICT を活用した地域の見守り活動モデル事業についての報告書作成業務委託	福岡市保健福祉局
⑤新産業・新技術		
36	学研 2 期「大学・関連施設地区」土地利用検討業務委託	北九州市産業経済局
37	平成 29 年度九州地域ものづくり中小企業事業化支援事業(技術開発戦略策定)	九州経済産業局
⑥流通		
38	飯塚市地方卸売市場等施設整備基本構想策定支援業務委託	飯塚市経済部
(社会資本)		
39	平成 29 年度九州管内における物流ネットワーク検討業務	パシフィックコンサルタンツ(株)(九州地方整備局)
40	平成 29 年度アジアとの貨物輸送における九州港湾の活用に関する情報把握業務	九州地方整備局物流企画室
41	福岡都市圏の道路ネットワークの地域経済・産業に与える影響調査	九州地方整備局福岡国道事務所
42	平成 29 年度ウォーターフロント地区再整備に伴う効果等に関する検討業務委託	福岡市住宅都市局
43	次期物流拠点化戦略基本方針策定事業にかかる予備調査	北九州市港湾空港局
(雇用・人材育成等)		
44	平成 29 年度生涯現役促進地域連携事業 小売業事業所ヒアリング支援及び企業ニーズの把握・分析業務委託	(公社)福岡県雇用対策協会

45	平成 29 年度食料品製造業における事業所アンケート調査支援業務委託	福岡県雇用対策協会
46	福岡県プロフェッショナル人材戦略拠点事業 成果検証業務	福岡県商工部
47	職業教育の効果測定調査	九州大学教育学部
48	女性の活躍推進福岡県会議 調査部会アンケート設計・調査集計・分析業務	NPO 法人ママワーク研究所
(行財政)		
49	アイランドシティにおける税収効果に係る調査業務委託	福岡市港湾空港局
(その他)		
50	福岡市文化芸術振興ビジョン改定にかかる調査・検討業務委託	福岡市経済観光文化局
51	平成 29 年度政策金融評価の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
52	The 17th International Workshop on Microelectronics Assembling and Packaging	アジア半導体機構 (ASTSA)

### (3) 九経調地域研究助成・顕彰事業

九経調地域研究助成・顕彰事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、平成 26 年度から溝江建設(株)の支援を受けて実施している。

助成事業については、6 月 15 日～7 月 14 日の応募期間に 20 本の申請があり、8 月 8 日に開催した「九経調地域研究助成・顕彰委員会」で 5 本の助成先候補を選定した。顕彰事業については平成 30 年 2 月 20 日に、助成した 5 本の論文と自由応募の 2 本、合計 7 本の論文を審査し、みぞえ賞（最優秀賞）、溝江建設賞（優秀賞）、奨励賞を決定。3 月 14 日（水）に各賞の顕彰と研究発表会を開催した。なお、各賞の受賞者には、溝江建設(株)より副賞を贈呈した。

#### ■九経調地域研究助成事業 審査結果

	テーマ	申請者・研究代表者	助成額
1	災害派遣時における保育支援	航空自衛隊築城基地 蓮池勢津子	20 万円
2	1 人のスタープレイヤーより、100 人の普通の母ちゃんプレイヤー～地方都市でのこれからはたらき方・暮らし方の提案～	糸島女性支援プロジェクト 佐藤倫子	20 万円
3	北九州・八幡の薬剤師と医師らによる地域一体型在宅看取りへの挑戦	九州国際大学現代ビジネス学部 江本伸哉	20 万円
4	外国人留学増加地域における多様性を活かした地域づくりのあり方についての研究 ―福岡市南区塩原地区を事例として―	九州大学大学院芸術工学府 宮崎 慧	20 万円
5	八女市予約型乗合タクシーの事業性及びライドシェアの実装可能性に関する研究	九州大学大学院芸術工学府 吉岡智哉	20 万円

## ■九経調地域研究顕彰事業 審査結果

対象、審査	テーマ	受賞者	副賞
みぞえ賞 (最優秀賞)	災害派遣時の保育支援	航空自衛隊築城基地 蓮池勢津子	30万円
溝江建設賞 (優秀賞)	八女市予約型乗合タクシーの評価 運用実績の分析・その他地域交通政策事例との比較より	九州大学大学院芸術工学府 吉岡智哉	10万円
奨励賞	多文化共生に向けた歩み寄り ー福岡市南区の縁むすび事業を事例としてー	九州大学大学院芸術工学府 宮寄 慧	高級ボールペン
	発達障害者の就労支援から始まる新しい九州の未来像 に向けた提案～自己肯定感を醸成する企業が集うイン クルージョン社会～	九州大学大学院経済学府産業 マネジメント専攻 田中芳彦	

注) 受賞者の所属・役職は平成 30 年 3 月 27 日時点

## ■九経調地域研究助成・顕彰委員会 委員

	氏名 (敬称略)	所属	役職	備考
1	川崎隆生	(株)西日本新聞社	会長	民間
2	山岐真作	(株)日本政策投資銀行	九州支店長	民間
3	安浦寛人	九州大学	副学長	大学
4	松田美幸	福津市	副市長	公共
5	高木直人	(公財)九州経済調査協会	理事長	主催者

## ■九経調地域研究助成・顕彰事業スケジュール

	テーマ
6月～7月14日(金)	平成29年度 研究テーマの募集
8月8日(火)	九経調地域研究助成顕彰委員会開催。助成先を選定 (書面理事会で承認) (平成30年1月31日 論文提出締切り)
2月20日(火)	九経調地域研究助成顕彰委員会開催。最優秀賞(みぞえ賞)、優秀賞(溝江建設賞)、奨励賞を選定(3月9日 理事会で承認)
3月14日(水)	研究発表会を開催し、顕彰論文を表彰(於:西鉄グランドホテル)。来場者176人

## 3. 講演会・セミナーの開催

当会では、研究成果を広く伝えるために、定例の講演会やセミナーを各地で開催している。また、BIZCOLI では多様なテーマで定期的にセミナーを開催している。平成 29 年度の九経調主催による講演会・セミナーは、合計 61 回であった。

### (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等

#### ①九州経済白書説明会(計12回)

九州経済白書「スマホ時代の新しい消費と流通」の刊行後、九州・沖縄・山口の 12 都市で開催した。

地区	日時	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	2月13日 (火)	FFGホール (福岡銀行本店地下)	(株)ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	大谷次長	152人
北九州	2月26日 (月)	FFG北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (一社)西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	岡野部長	62人
久留米	3月6日 (水)	筑邦銀行本店 3階大ホール	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	岡野部長	100人
佐賀	2月27日 (火)	佐賀銀行本店8階	(株)佐賀銀行	大谷次長	52人
長崎	2月21日 (水)	十八銀行本店 10階会議室	(株)十八銀行 (株)長崎経済研究所	大谷次長	50人
佐世保	3月1日 (木)	FFG佐世保ビル 4Fセミナールーム	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)親和銀行 佐世保商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	岡野部長	24人
熊本	2月20日 (火)	肥後銀行熊本駅前支店 セミナールーム くまもと森都心プラザ2階	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	大谷次長	76人
大分	3月13日 (火)	大分銀行 宗麟館	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	大谷次長	107人
宮崎	3月23日 (金)	第一宮銀ビル	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	大谷次長	81人
鹿児島	3月7日 (水)	鹿児島中央ビルディング8階	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	大谷次長	55人
沖縄	2月19日 (月)	ダブルツリー by ヒルトン 那覇首里城 守礼の間	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	大谷次長	58人
山口	3月16日 (金)	シーモールパレス	(株)山口銀行 (一財)山口経済研究所	岡野部長	58人

## (2) 定例の講演会・セミナー

### ①九経調交流会 (1回)

当会の会員各位との交流を目的に毎年開催している。平成29年度は、224人の参加があった。

日程	テーマ	講師	参加者数
2月9日 (金)	〈インターネット〉の次に来るもの～未来の考え方	関西大学客員教授 服部桂氏 翻訳者	224人

### ②研究報告会 (1回)

九経調幹事会終了後に、前年度の幹事会提案の自主研究について研究報告会を開催している。平成29年度は、「道を生かす～九州の道路ストック活用調査～」をテーマに研究報告会を開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月20日 (木)	道を生かす～九州の道路ストック活用調査～	当会 調査研究部 藤井次長	105人

### ③アジア経済講演会（1回）

昭和37年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。平成29年度は、ASEAN地域で急成長する環境産業をテーマに開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
9月13日 (水)	ASEAN 共同体における環境問題への取り組みと環境ビジネス	ジェトロ・アジア経済研究所 新領域研究センター 上席主任調査研究員 小島道一氏	43人

備考) ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、当会の三者共催

### ④調査技法セミナー（2日間開催。1回）

九州・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。平成29年度は、九州経済のアウトルック（概観）、景気分析と経済指標、九州の観光産業など統計を広く活用した調査技法の他、観光産業をテーマにワークショップの理論と実践を学ぶプログラムを組んだ。

日程	内容	講師
8月22日 (火)	九州経済のアウトルック	当会 調査研究部 大谷次長
	景気分析と経済指標	当会 調査研究部 柿野研究員
	九州の観光産業	当会 調査研究部 島田研究主査
8月23日 (水)	ワークショップとは	当会 調査研究部 南主任研究員
	実践 ワークショップ（九州観光の未来）	当会 調査研究部 南主任研究員、原口研究員

注1) 自主研究・事業基金を活用した事業

参加機関

㈱FFG ビジネスコンサルティング	㈱長崎経済研究所	㈱鹿児島銀行
㈱NCB リサーチ&コンサルティング	㈱肥後銀行	㈱りゅうぎん総合研究所
㈱北九州経済研究所	㈱大銀経済経営研究所	(一財)山口経済研究所
㈱ちくぎん地域経済研究所	(一財)みやぎん経済研究所	(公財)九州経済調査協会

### ⑤経済講演会（1回）

明治大学政治経済学部准教授飯田泰之氏を招いて、「地域再生と日本経済」をテーマに、㈱ふくおかフィナンシャルグループとの共催で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
11月10日 (金)	地域再生と日本経済	明治大学政治経済学部 准教授 飯田泰之氏	153人

### ⑥九経調地域研究助成・顕彰事業研究発表会（1回）

前出の九経調地域研究顕彰事業において選定された優秀な論文を顕彰し、それらの論文についてレゼンテーションを行う研究発表会を開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
3月14日 (水)	平成29年度 九経調 地域研究顕彰事業 研究発表会	(平成29年度論文応募者) 航空自衛隊築城基地 蓮池勢津子氏 糸島女性支援プロジェクト 佐藤倫子氏 九州国際大学現代ビジネス学部 江本伸哉氏 九州大学大学院芸術工学府 宮寄 慧氏 九州大学大学院芸術工学府 吉岡智哉氏 九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻 田中芳彦氏 (一社)ツタワールドボク 片山 英資氏  (昨年度最優秀賞受賞者) NPO 法人ママワーク研究所 理事長 田中彩氏	176人

### (3) BIZCOLIでのセミナー・イベント

BIZCOLIでは、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催しており、今年度は合計43回であった。セミナー終了後には、交流ラウンジで名刺交換会を開催し、参加者相互の人脈形成の場を提供している。

#### ①イブニングセミナー (計4回)

当会研究員や当会月報への寄稿者によるセミナーを不定期に開催しており、民泊解禁、インバウンド観光客受入促進等をテーマにセミナーを開催した。

No. 日程	テーマ	講師	参加者数
第85回 9月28日 (木)	山奥の小さな旅館が連日外国人客で満室になる理由 "民泊"解禁による地域経済への影響と展望	湯平温泉「山城屋」代表 二宮謙児氏 当会 調査研究部 片山次長	103人
第86回 11月6日 (月)	ユーザー×企業×大学×行政の社会変革推進アプローチ 「リビングラボ」の可能性： OpenLivingLab Days 2017 in クラクフの参加報告	当会 調査研究部 原口研究員	11人
第87回 1月9日 (火)	2018年度九州経済の見通し	当会 調査研究部 柿野研究員	40人
第88回 2月26日 (月)	九経調地域研究助成・顕彰事業 平成28年度最優秀賞受賞論文について	NPO 法人ママワーク研究所 理事長 田中彩氏	20人

#### ②共催セミナー (計2回)

会員との共催によるセミナーに取り組んでおり、平成29年度は九州朝日放送(株)と(株)電通九州と実施した。

日程	テーマ	講師	共催機関	参加者数
5月29日 (月)	1歩進んだインバウンド 集客	日本政府観光局 (JNTO) ソウル事務所 所長 熊野伸彦氏 北九州フィルム・コミッション事務局 次長 上田秀栄氏	九州朝日 放送(株)	86人

12月8日 (金)	Uターン人材を FUKUOKAの活気に	<基調講演> リクルートワークス研究所 所長 大久保幸夫氏 <調査報告> (株)電通九州コミュニケーションプランニング 部 部長 和泉宏氏 <パネルディスカッション> リクルートワークス研究所 所長 大久保幸夫氏 HRソリューションズ(株) 代表取締役 武井繁氏 (株)アソウ・ヒューマンセンター 常務取締役 溝口猛氏 (株)電通九州コミュニケーションデザイン局 次長 小野和美氏 当会 調査研究部 小柳研究主査	(株)電通九州	114人
--------------	------------------------	---	---------	------

### ③経営・スキルアップセミナー（計5回）

ビジネスの最前線で活躍する講師による経営・スキルアップセミナーを5回開催した。いずれも講師への依頼等で会員企業の協力を得て実現した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月25日 (火)	組織を強くするLGBTへの取組み	(株)ミライロ 人事部長 堀川歩氏	41人
8月30日 (水)	民法改正で変わるビジネスの流儀 ～皆さんの契約書は大丈夫？	西村あさひ法律事務所 福岡事務所 弁護士 舞田靖子氏	135人
9月1日 (金)	デジタル技術時代のビジネスモデルを考 える	九州大学ビジネススクール 教授 高田仁氏	41人
11月21日 (火)	ヒアリ防除ビジネス（第1回）	九州大学決断科学センター 准教授 村上貴弘氏	35人
1月23日 (火)	ヒアリ防除ビジネス（第2回）	九州大学決断科学センター 准教授 村上貴弘氏	7人

### ④地域応援セミナー（1回）

九州では世界文化遺産への登録が増えており、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」も登録にむけた準備が進められていることから、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と「世界遺産を活用した地方創生」をテーマにしたセミナーを開催した。

日程	テーマ	講師	後援機関	参加者数
12月15日 (金)	長崎と天草地方の潜伏キリ シタン関連遺産の魅力 世界遺産を活用した地方創 生～残念な観光地にならな いために	長崎の教会群を世界遺産にする会 事務局長 柿森和年氏 高崎経済大学 特命教授 佐滝剛弘 氏	(株)十八銀行 (株)長崎 経済研究所 長崎県 熊本県 (一社)九州観 光推進機構 (一社)九 州経済連合会	118人

### ⑤九州国立博物館応援セミナー（計4回）

九州国立博物館の企画展にあわせて4回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月20日 (木)	タイ～仏の国の輝き～	九州国立博物館 特別展室長 原田あゆみ氏	17人
7月31日 (月)	世界遺産 ラスコウ展～クロマニヨン人が見た世界～	九州国立博物館 課長 河野一隆氏 九州国立博物館 アソシエイトフェロー 西島亜木子氏	24人
10月27日 (金)	新・桃山展－大航海時代の日本美術	九州国立博物館 企画課 主任研究員 鷲頭 桂氏	22人
2月20日 (火)	王羲之と日本の書～運命的な書との出会いを	九州国立博物館 学芸部文化財課 資料登録室長 丸山猶計氏	31人

## ⑥サイエンスカフェ（計10回）

サイエンスカフェは、九州大学が企画し当会が主催して行う、科学者による市民向け勉強会である。九州大学の若手研究者が燃料電池や生命科学等のテーマを取り上げ、科学の最前線的话题を提供した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月14日 (金)	燃料電池で地球を救えるか！？	九州大学工学研究院 准教授 白鳥祐介氏	34人
5月26日 (金)	ウナギの産卵の謎に迫る！	九州大学農学研究院 准教授 望岡典隆氏	32人
6月23日 (金)	原子炉の謎に迫る！	九州大学工学研究院 教授 藤本望氏	35人
7月28日 (金)	海洋への進出を目指す！	九州大学工学研究院 准教授 山口悟氏	28人
9月8日 (金)	南極の空を飛行する！	九州大学工学研究院 准教授 東野伸一郎氏	26人
10月13日 (金)	極微の世界に迫る！	九州大学工学基幹教育院 特任助教 小林良彦氏	44人
11月18日 (土)	最先端生命科学に迫る！	九州大学システム情報科学研究院 伊良皆啓治氏 東京大学生産技術研究所 統合バイオメディカルシステム国際研究センター 教授 竹内昌治氏	33人
12月15日 (金)	眠りを科学する！	九州大学芸術工学院 助教 元村祐貴氏	48人
1月19日 (金)	粘着・剥離の謎に迫る！	九州大学大学院工学研究院機械工学部門 准教授 山口哲生氏	37人
2月23日 (金)	二酸化炭素の貯留に迫る！	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際 研究所 助教 北村圭吾氏	37人

## ⑦ビズコリクラブ（計7回）

ビズコリクラブは、教養を深める少人数セミナーとして平成27年度に開始した。29年度は、中国哲学及び日本の歴史研究家の橋一徳氏による「今に生きる陽明学」を2カ月に1回程度の頻度で7回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月24日 (月)	陽明学セミナー「本体工夫」	たちばな教育総合研究所 所長 橋一徳氏	6人

6月13日 (火)	陽明学セミナー「知行合一」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	9人
8月21日 (月)	陽明学セミナー「格物致知」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	8人
10月24日 (火)	陽明学セミナー「明治維新の原動力」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	9人
12月12日 (火)	陽明学セミナー「明治維新の原動力」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	13人
2月2日 (金)	陽明学セミナー「明治維新の原動力」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	11人
3月19日 (月)	陽明学セミナー「明治維新の原動力」	たちばな教育総合研究所 所長 橘一徳氏	11人

### ⑧文化セミナー（計2回）

今年度の文化セミナーは中洲の変遷と、本格焙煎コーヒーについて紹介した。

日程	テーマ	講師	参加者数
7月6日 (木)	中洲の今、昔、そして未来～	中洲町連合会 専務理事 川原雅康氏	30人
2月8日 (木)	焙煎世界チャンピオンによる 本格焙煎コーヒーセミナー	豆香道コーヒー 店主 後藤直紀氏	31人

### ⑨アートイベント（1回）

BIZCOLIでは、平成24年度より「アートによる地域力創造 inBIZCOLI」を開催している。29年度は電気ビルみらいホール5周年応援企画として、みぞえ画廊と㈱電気ビルの協力を得て、ルノワールの絵画2点を展示した。

日程	テーマ	展示内容	参加者数
3月5日 (月)	ビジネスに効くアート inBIZCOLI～渡辺通でルノワール	「エンリオ嬢、または青いリボンの娘」(1876年) 「肌着を直す若い娘」(1905年) *画家はピエール・オーギュスト・ルノワール	150人

### ⑩ビズコリテック（1回）

ビズコリテックは、先端技術をテーマにしたセミナーである。自動車用エンジンをテーマに世界の技術者の観点から発想やプロセスを考える勉強会を開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
4月25日 (火)	世界の技術観～発想プロセスの違いをみる～自動車用エンジンの燃焼と排気ガス対策～	㈱ODY 代表 柳原弘道氏	5人

### ⑪新しいまちづくりセミナー（計3回）

地域づくりや地方創生に係るセミナーを3回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
10月14日 (土)	「SIM ふくおか 2030」～対話型自治体経営シュミレーションゲームを体験する～	福岡市経済文化局 総務部長兼中小企業振興部長 今村寛氏	29人
2月15日 (木)	RESASを使いこなす ーこれからの地域政策立案・分析手法	内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局ビッグデータチーム チーム長代理 森大輔氏 東京大学大学院総合文化研究科 教授 松原宏氏	57人
3月29日 (木)	地方創生 ICO について～新技術ブロックチェーンを活用した地方創生の今	㈱chaintope 地方創生 ICO 推進室 室長 深堀剛氏	32人

## ⑫アフタヌーントーク（旧・女性セミナー）（計3回）

働く女性達が自分の働き方を考えるきっかけとして、企業トップと交流するセミナーである。竹下製菓(株)竹下真由社長、(株)K アライアンス・ジャパン川邊康晴会長、(株)博多大丸柚木和代社長を講師に迎えて3回実施した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
6月20日 (火)	私の事業継承と次世代に向けて	竹下製菓(株) 代表取締役社長 竹下真由氏	35人
10月30日 (月)	「働く」から「傍楽」へ	(株)K アライアンス・ジャパン 代表取締役会長 川邊康晴氏	26人
3月6日 (火)	博多大丸柚木和代社長に聞く10のこと	(株)博多大丸 代表取締役社長 柚木和代氏	11人

## (4) 外部主催の講演会・セミナーへの協力

### 1) 外部主催の講演会・セミナーへの講師派遣

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。その手段の一つとして、会員をはじめとする外部からの依頼に応え、当会から講師を派遣した（巻末参照）。

### 2) セミナー等への参加・企画協力

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLI の会議室提供などで協力した。

## 協力実績（計25件）

日程・場所	主 催 者	会 合 名	備考
5月12日（金） 電気ビル共創館 みらいホール	国土交通省九州地方整備局 （一社）九州地域づくり協会	「九州を元気に～観光と交流を支えるインフラ～」	後援
5月22日（月） 電気ビル共創館 カンファレンス	在日フランス商工会議所	「フランス-福岡（九州）経済フォーラム」～新時代の産業革命へと繋がるイノベーションと新技術～	後援

5月27日(土) 電気ビル共創館 カンファレンス	日本ファシリテーション協会	「ファシリテーションであなたの明日と社会の未来をつくる」	後援
5月29日(月) 福岡大学 中央図書館	福岡大学 福岡大学産学連携協議会	「IoTセミナー2017」	後援
6月29日(木) 電気ビル共創館 カンファレンス	九州大学持続可能な社会のための 決断科学センター	決断化学への招待	後援
7月5日(水) リーガロイヤルホテル小倉	駐福岡大韓民国総領事館 北九州市 韓国貿易センター(KOTRA)	2017 韓国人材活用セミナー	後援
7月6日(木) FUKUOKA growth next 「イベントスペース」	(公財)福岡アジア都市研究所	平成29年度第1回 都市セミナー チャレンジするスタートアップ都市「福岡」	後援
7月27日(木) 電気ビル共創館 カンファレンス	(公財)九州生産性本部・九州経営品 質協議会	九州経営品質協議会特別講演会	後援
7月28日(金) レゾラ NTT 夢天神ホール	㈱BCN	BCNConference2017inFUKUOKA 「デジタル革命最前線 ～デジタル の実ビジネスをつかむ一日～」	後援
8月2日(水) ANAクラウンプラザホテル 福岡	日本政府観光局 (JNTO)	「訪日ウェディングツーリズムセ ミナー・交流会 (香港市場)」	後援
9月8日(金)～10日(日) ホテルオークラ福岡	アートフェアアジア実行委員会	ART FAIR ASIA FUKUOKA 2017	後援
10月19日(木) あじびホール	(公財)福岡アジア都市研究所	(公財)福岡アジア都市研究所 平成 29年度第2回 都市セミナー	後援
11月9日(木) 福岡市科学館	㈱しくみデザイン	+Creative～新しいシゴトの作り方 とクリエイティビティ	後援
12月1日(金) STARTUP CAFE	福岡市、国立研究開発法人理化学研 究所横浜事務所	理研よこはまサイエンスカフェ	後援
12月7日(木) BIZCOLI 交流ラウンジ	若林ビジネスサポート	国際観光ビジネスセミナー 「なぜ中国人は財布を持たないの か」～モバイル先進国、中国の現状 について考える～	後援
12月15日(金) 電気ビルみらいホール	内閣府、福岡市、九州大学、理化学 研究所、(公財)九州先端科学技術研 究所	サイエンス&イノベーションフォ ーラム in Fukuoka	後援
12月15日(金)～18日(月) 福岡国際会議場、マリンメ ッセ福岡、福岡国際センタ ー等	福岡モーターショー実行委員会	福岡モーターショー2017	後援
12月22日(金) 福岡大学中央図書館 1階多 目的ホール	福岡大学 福岡大学産学連携協議会	福岡大学産学連携フォーラム インバウンド～訪日客 4000 万人時 代への対応～	後援
1月18日(木) 日田玖珠地域産業振興セン ター・研修会議室	(公財)筑後川水源地域対策基金	筑後川流域の上下流交流・地域経済 活性化セミナー	共催
1月24日(水) BIZCOLI 交流ラウンジ	福岡大学	ビジネスとランニングに効く"スロ ージョギング"～運動生理学の研究 から生まれた「走るための最強メソ ッド」	後援
1月31日(水) BIZCOLI 交流ラウンジ	㈱電通九州、若林ビジネスサーポ ート	国際観光ビジネスセミナー 「中国のモバイル決済 (QR コード	後援

		決済)の最前線報告」～財布を持たない中国人に学ぶ～	
2月19日(月) BIZCOLI	専門図書館協議会	図書館の新しいカタチ～地域づくりを実践する図書館	後援
2月22日(木) 電気ビルみらいホール	(一社)九州地域づくり協会	第4回地域づくり政策セミナー 九州の未来を支えるインフラ～九州の未来を支えるプロジェクトとは～	後援
3月15日(木) 鹿児島サンロイヤルホテル	九州未来アワード実行委員会	第4回九州未来アワード	後援
3月16日(金) あじびホール	(公財)アジア都市研究所	(公財)福岡アジア都市研究所 平成29年度第3回 都市セミナー	後援

\*上記には、コーディネーターや講師、発言者としての協力を含む

#### 4. 経済図書館 (BIZCOLI) 事業

BIZCOLI は、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナーやイベントを開催して、人が集まり、知的刺激を受ける場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じて、アイデアの創出や発想の転換を促進している。

また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成や自己研鑽の空間として活用されている。

##### (1) BIZCOLI の利用状況

平成29年度の利用者数は16,743人となった。利用者数はこれまで順調に増加してきたが、初めて前年を下回った(1.4%減)。今後の状況を注視しながら、広報活動に力を入れたい。

##### BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数
平成24年度	8,044人	平成27年度	15,486人
平成25年度	12,238人	平成28年度	16,984人
平成26年度	13,479人	平成29年度	16,743人

##### (2) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、企業の新製品や話題のグッズを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。今期は、26件の行政や企業、団体等と連携して、展示を行った。

## 【企業・団体との共同展示】

### ①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
DRATION	ドローンの提供
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	「九州の未来力」関係資料
福岡市	市作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など

### ②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
(株)電通九州	電通九州のクリエイターによる“感じる”“考える”“伝える”をテーマとした書籍と書評を展示
(株)西日本新聞社	パネル「2027 首都・福岡」の展示
(株)野村総合研究所	パネル「未来年表 2017・2100」の展示
福岡商工会議所	パネル「二十年後ノ大福岡構想圏」の展示
みぞえ画廊	ルノアールによる絵画2点の展示

## 5. 経済団体等支援事業

### (1) 福岡経済同友会からの事務局受託

会員数 510名（3月末現在）  
 平成29年度決算 72,702千円（経常費用計）

#### 平成29年度の主な活動（九州経済同友会を含む）

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常総会、常任幹事会、幹事会の開催</li> <li>・第9期九州メンタープロジェクト実施</li> <li>・九州メンタープロジェクト・メンティー発表会の開催</li> <li>・Fukuoka Growth Next の視察会</li> <li>・グローバル人材の育成について大学との意見交換会の実施</li> <li>・海外視察（インド）</li> <li>・「福岡市都心部における航空法の高さ制限の緩和に関する意見書」提出</li> <li>・福岡県教育委員会との連携・協力に関する協定締結</li> <li>・県立高等学校、市立中学校計20校にて出前講座を開催</li> <li>・大和ハウス工業㈱九州工場への視察会の実施</li> <li>・70周年記念式典の開催</li> <li>・北部九州豪雨被害に対する義援金の贈呈 など</li> </ul>
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第66回九州経済同友会大会（長崎市）開催</li> <li>・企画委員会、同人口提言ワーキングの開催</li> <li>・会員合同懇談会の開催、九州はひとつ委員会の開催</li> <li>・九州地域戦略会議への参加</li> <li>・西日本経済同友会 代表者会議への参加など</li> </ul>

\*その他講演会、会合など開催 上記を含む総会合数 171回  
 （他団体の共催・後援7回を含む）

### (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州経済を考える懇談会は、九州の経済団体のトップが九州経済に関する重要課題について、認識を共有し、課題解決策について議論する会議体である。平成22年度に「地域経営を考える政策懇談会」として始まり、平成25年1月から現在の名称に変更した。（一社）九州経済連合会、（一財）九州地域産業活性化センター、（公財）九州経済調査協会の3者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。平成29年度は計4回開催した。

No	日時・場所	テーマ	参加者
第1回	7月4日 (火) 九経調 会議室	1) 「第一次産業の魅力づくり」について 2) 九州・大学発ベンチャー振興会議の状況報告 3) 九州地域戦略会議の状況報告	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 礪山誠二氏 (欠席) 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第2回	10月12日 (木) 九経調 会議室	1) 「地域文化発信によるインバウンド観光促進」について 2) 九州・大学発ベンチャー振興会議の状況報告 3) その他 (KIMONO PROJECT、福岡 JAPAN 市、九州地域戦略会議)	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏 (座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 礪山誠二氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)

第3回	1月30日 (火) 九経調 会議室	1) 「福岡・天神の活性化」について 2) 「ラグビーW杯を見据えた九州・山口PR強化」について 3) 2018年度当懇談会の進め方 4) その他（「九州・大学発ベンチャー振興会議」の進捗状況について） 5) その他（「KIMONO PROJECTを応援する会」の設立について）	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏（座長） (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 礒山誠二氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第4回	3月6日 (火) 九経調 会議室	1) 「将来の労働力不足対策」について 2) 2018年度懇談会討議テーマについて 3) その他（「九州・大学発ベンチャー振興会議」について、ラグビーW杯を見据えた九州・山口PR強化策の進捗状況について）	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏（座長） (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 礒山誠二氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)

### (3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局

「地域政策デザイナー養成講座」（事務局長：谷口博文 九州大学教授）は、地域の具体的な課題を把握し、地域像をデザイン、政策立案できる人材を「官」「民」を問わず育て、九州地域の発展に貢献することを目的に、平成22年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(株)西日本新聞社、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

平成29年度は73名（受講生35名、聴講生38名）が受講した。4月から11月までに15回の授業を実施し、11月11日には研究発表会を開催した。

#### 平成29年度 地域政策デザイナー養成講座 講師一覧

氏名	所属
谷口 博文	九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
石丸 修平	福岡地域戦略推進協議会 事務局長/九州大学 客員准教授
紺野 登	多摩大学大学院教授/Future Center Alliance Japan 代表理事
佐々木 久美子	(株)グルーヴノーツ 代表取締役会長
藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
岡田 昌治	九州大学ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター エグゼクティブ・ディレクター 特任教授
モンテ・カセム	前立命館アジア太平洋大学 (APU) 学長
佐保井 久理須	(株)Kyulux 代表取締役 (CEO)
龍造寺 健介	本多機工(株) 代表取締役社長
崎田 恭平	日南市長
安浦 寛人	九州大学 理事・副学長
脇山 真治	九州大学 芸術工学研究院教授

#### (4) 九州水フォーラム 2017 の事務局

九州水フォーラムは、「九州ならではの水のありかた」を多様な視野からとらえ、九州の水環境や治水、技術開発の取組みを世界に向けて発信する組織である。今年度は運営規程やフォーラムの企画について協議する企画委員会を3回開催し、12月19日にシンポジウムを開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
12月19日 (火)  電気ビル 共創館	九州水フォーラム 2017 シンポジウム 基調講演 「水環境の生物多様性と環境投資」  パネルディスカッション 「九州の多様な主体による社会の形成に向けて」	講師 日経 BP 環境経営フォーラムプロデューサー 藤田香氏 パネリスト 九州大学教授 七戸克彦氏 国連ハビタット福岡本部長 是澤優氏 九州電力耳川水力整備事務所長 朝崎勝之氏 水の会会長 立花民雄氏 コーディネーター 九州大学准教授 清野聡子氏	133人

## 6. 社会貢献活動等

行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を下記の通り行った。

### 対外活動実績（平成 29 年度）

区 分	内 容	件数等
(1) 審議会・委員会への委員派遣	【行政】内閣府、九州経済産業局、九州農政局、九州管区行政評価局、九州防衛局、福岡県、長崎県、大分県、北九州市、福岡市、久留米市文化芸術振興審議会、行橋市、築上町 企業誘致推進委員会 【団体】(公社)日本ロジスティクスシステム協会 (JILS)、(公財) 経営者顕彰財団、(公財)福岡県国際交流センター、(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター、(公財)福岡アジア都市研究所、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、福岡市科学館開館準備室、(一社)九州経済連合会、(一社)九州観光推進機構、(一社)福岡青年会議所、(一財)九州地域産業活性化センター、(一財)九州電気保安協会、九州経済フォーラム、北九州空港利用促進協議会、福岡ロータリークラブ、福岡日米協会、九州水フォーラム実行委員会、(一財)港湾空港総合技術センター (国土交通省) 【民間・大学】(学)福岡大学、(株)福岡放送、(株)アソウヒューマニーセンター、(株)富士通総研経済研究所	就任件数計 39件
(2) 大学への非常勤講師の派遣	福岡大学、九州産業大学、中村学園大学、近畿大学、西南学院大学、流通科学大学 (*1コマの派遣は含まず)	計6大学 8講座
(3) テレビ・ラジオ等への出演	TBS「ニュースバード」、RKB「アサデス」「今日感ニュース」、FBS「めんたいPlus」、TNC「ももち浜ストア夕方版」「CUBE」「みんなのニュース福岡」、TVQ「ふくおかサテライト」、「ぐっ!ジョブ 九州ゲンキ主義経済」など	延33回
(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	西日本新聞、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、大分合同新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、琉球新報、沖縄タイムズ、山口新聞、中国新聞、日刊工業新聞、日刊建設工業新聞、建設通信新聞、静岡新聞、中国新聞セレクト、鹿児島建設新聞、日本経済新聞電子版ニュース、西日本新聞経済電子版「qBiz」、日刊工業新聞「News ウェーブ21」、週刊金融財政事情、財界九州、ふくおか経済、データマックス、鉄鋼新聞など	延230件

## 7. 運営基盤の拡充

### (1) 会員数の維持・拡充

#### ①賛助会員

平成 29 年度の入会は 42 件、一方退会は 33 件で期首 574 会員から 9 会員純増となり、会費実勢額は 1 億 2,649 万円となった。BIZCOLI でのセミナーや講師派遣、企業団体への営業活動に加え、研究員のネットワークなど多様なルートを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めている。

#### 賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員	
平成 29 年度期首	574	74	484	14	2
入 会	42	0	41	1	0
退 会	33	1	32	0	0
増 減	9	-1	9	1	0
会員種別変更	0	0	0	0	0
平成 29 年度末	583	73	493	15	2

・平成 26 年度末	会員数	563 会員	・会費実勢額	1 億 2,446 万円
・平成 27 年度末	会員数	576 会員	・会費実勢額	1 億 2,648 万円
・平成 28 年度末	会員数	574 会員	・会費実勢額	1 億 2,574 万円
・平成 29 年度末	会員数	583 会員	・会費実勢額	1 億 2,649 万円

#### ②BIZCOLI 会員

平成 29 年度は、期首 105 会員から 3 会員純減して 102 会員となった。会費実勢額（月会費×12 ヶ月）は、822 万円となった。

#### BIZCOLI 会員の内訳（102 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	5	フルタイム+土曜日	5
デイトタイム	24	デイトタイム+土曜日	1
ナイトタイム	43	ナイトタイム+土曜日	15
土曜日	9	合 計	102

### (2) 理事会、評議員会、幹事会の開催

公益財団法人に移行して 5 年目を迎え、理事会、評議員会の決議の下、適正な組織運営を行っている。また、幹事会や参与会を定例化して、公益財団として組織力を強化してきた。

平成 29 年度は理事会を 6 回、評議員会を 4 回開催した他、幹事会を 2 回、企画委員会を 1 回、参与会を 1 回開催した。幹事会後には、幹事会の提案による自主研究の結果報告として「道を生かす～九州の道路ストック活用調査～」をテーマに、研究報告会を開催した。

## ①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議案等
4月1日 (土)	第20回理事会 (書面)	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 役員退職慰労金の支給について 第2号議案 業務執行理事の選定について 第3号議案 役員報酬について 第4号議案 幹事の選任について
5月22日 (月)	第21回理事会	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 平成28年度事業報告(案)について 第2号議案 平成28年度決算(案)について 第3号議案 評議員会の招集について <b>【報告事項】</b> 第1項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第2項 その他
6月7日 (水)	第22回理事会 (書面)	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 代表理事・会長の選定について 第2号議案 代表理事・理事長の選定について 第3号議案 業務執行理事の選定について 第4号議案 役員報酬について 第5号議案 幹事の選任について 第6号議案 参与の委嘱について 第7号議案 評議員会(書面表決)の招集について <b>【報告事項】</b> 第1項 評議員の選任について
8月18日 (金)	第23回理事会 (書面)	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 助成先の決定について
11月20日 (月)	第24回理事会	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 平成29年度更正予算(案)について 第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 評議員会の招集について <b>【報告事項】</b> 第1項 平成29年度上期事業報告について 第2項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 その他
3月9日(金)	第25回理事会	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 平成30年度事業計画(案)について 第2号議案 平成30年度予算(案)について 第3号議案 内閣府への定期提出書類について 第4号議案 顧問、参与の委嘱について 第5号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品の選定について <b>【報告事項】</b> 第1項 評議員会の開催について 第2項 その他

## ②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議案等
6月7日 (水)	第14回評議員会	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 平成28年度事業報告(案)について 第2号議案 平成28年度決算(案)について 第3号議案 評議員の選任について 第4号議案 理事の選任について 第5号議案 監事の選任について
6月23日 (金)	第15回評議員会 (書面)	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 評議員の選任の件 第2号議案 評議員会議長の選任の件 <b>【報告事項】</b> 第1項 会長、理事長、業務執行理事(常務理事)の選定について 第2項 幹事の選任について
12月5日 (火)	第16回評議員会	<b>【決議事項】</b> 第1号議案 次回評議員会(平成30年3月)の開催について <b>【報告事項】</b> 第1項 平成29年度上期事業報告について 第2項 平成29年度更正予算について 第3項 参与の委嘱について 第4項 幹事会の開催について 第5項 企画委員会の開催について 第6項 その他
3月12日 (月)	第17回評議員会	<b>【報告事項】</b> 第1項 平成30年度事業計画について 第2項 平成30年度予算について 第3項 顧問、参与の委嘱について 第4項 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品について 第5項 その他

## ③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議案等
7月20日 (木)	第6回幹事会	議案Ⅰ 幹事会議長・副議長の選出 議案Ⅱ 平成28年度九経調事業報告 議案Ⅲ 幹事会提案の自主研究について 議案Ⅳ その他
2月14日 (水)	第7回幹事会	議案Ⅰ 新幹事の紹介 議案Ⅱ 平成29年度自主研究の中間報告 議案Ⅲ 平成30年度の自主研究テーマの選定 議案Ⅳ 30年後に向けた九州地域発展戦略(創立70周年記念事業)の中間報告 議案Ⅴ その他

#### ④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議案等
12月13日 (水)	平成29年度 企画委員会	議案Ⅰ. 平成29年度自主研究の中間報告 議案Ⅱ. 平成30年度自主研究テーマ(案)について 議案Ⅲ. 30年後に向けた九州地域発展戦略(創立70周年記念事業)の 中間報告 議案Ⅳ. その他

#### ⑤参与会の開催状況

開催日	開催参与会	議案等
2月8日 (木)	第8回参与会	意見交換会「スマホ時代の新しい消費と流通」 2017年版九州経済白書 報告者：岡野調査研究部長

### (3) 研究員の育成

当会では、研究員の資質向上に取り組み、専門分野に偏らない、新しい分野への知見の蓄積を進めている。また、国内・海外を問わず外部との交流を積極的に行うことで、各研究員がネットワークを広げることを重視している。

平成29年度は、前年度に続いて新卒職員を採用したことから、若手研究員の育成に力を入れている。まずは、統計の基礎知識と文章力の向上からはじめ、OJTを通じた現場での調査能力の向上に努めている。また、(株)日本経済研究所主催の地域シンクタンク研修等への参加を通じて、基礎能力の向上と人的ネットワークの形成を図った。

## 資料

### 外部主催の講演会への講師派遣（計 61 件）

#### 講師派遣一覧

月 日	依 頼 先	会合名・タイトル	講 演 者	参加者数
4月4日(火)	長崎経済同友会	2017年度 経済見通し	片山次長	80人
4月12日(水)	(一社)九州経済連合会	東九州軸推進機構平成29年度第1回実務者会議「道を生かす～九州の道路ストック活用調査より～」	藤井次長	22人
4月17日(月)	九州電力(株)東京支社	九州経済講演会 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」	大谷次長	50人
4月18日(火)	福岡銀行協会	福岡銀行協会情報交換会「2017年度九州経済の見通しと熊本地震後の九州経済」	片山次長	20人
4月18日(火)	(株)サフライズ	総合職研修会「九州経済見通しと福岡のプロジェクト」	片山次長	25人
4月18日(火)	(一財)運輸総合研究所	九州運輸セミナーパネルディスカッション 「九州の観光復興に向けて」	高木理事長	200人
4月19日(水)	(株)西日本新聞社	新聞広告基礎講座 「九州経済情報の収集と編集から見た『新聞』」	能本主任研究員	50人
4月20日(木)	パナソニックシステムネットワークス(株)	2017年度 KRP 会 期首方針発表会 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」	大谷次長	60人
4月21日(金)	三菱電機(株)	九州支社 経営方針説明会 「九州経済と成長への戦略」	片山次長	50人
4月21日(金)	日本証券アナリスト協会九州支部	人材枯渇時代と九州の未来	片山次長	20人
4月21日(金)	九州経済産業局	エネルギー対策課勉強会 「九州の太陽光発電設備の実情」	松嶋研究主査	10人
4月23日(日)	福岡県環境保全技術者の会	福岡県環境保全技術者の会 全体研修会 「太陽光発電パネルリサイクル回収プロジェクトの実施状況と今後の可能性」	松嶋研究主査	30人
4月26日(水)	ナイス(株)	福岡ナイスパートナー会研修会 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略～建設業における現状と課題を中心に～」	大谷次長	80人
5月17日(水)	(株)宮崎太陽銀行	宮崎太陽銀行 行内勉強会	松嶋研究主査	15人
5月26日(金)	九州経済産業局	平成29年度九州地域再生可能エネルギー連絡会議	松嶋研究主査	30人
6月2日(金)	福岡県商工部	福岡IoTプロジェクト推進会議第1回会議 「地域課題解決に向けたIoT技術の活用について～IoTによるビジネス展開と地域活性化～」	岡野部長	28人
6月5日(月)	日本関税協会門司支部	平成29年度 定時総会「2017年度 経済見通し」	片山次長	180人
6月6日(火)	熊本県農林水産部農村振興局 むらづくり課	熊本県内中山間地域における農業集落等実態調査報告	能本主任研究員	40人
6月12日(月)	福岡ひまわり会(事務局:宮崎銀行福岡支店)	福岡ひまわり会総会 講演会 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」	大谷次長	30人

6月21日(水)	北海道新幹線建設促進期成会	北海道新幹線建設促進期成会 総会・講演会 「北海道新幹線札幌延伸に向けて」	大谷次長	100人
6月25日(日)	日本社会教育学会	日本社会教育学会「九州の地域変動と社会教育」 シンポジウム「九州における地域経済の動向」報告、パネルディスカッション	片山次長	50人
7月10日(月)	福岡県 企画・地域振興部	太陽光発電メンテナンスセミナー 「太陽光発電の保守点検に係る実態や課題」	藤井次長	123人
7月13日(木)	地銀調査担当部長会議	地域課題解決に向けたIoT技術の活用について	岡野部長	15人
8月3日(木)	福岡県経営者協会	九州経営者協会職員研修 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」	大谷次長	10人
8月5日(土)	日本経営診断学会 九州部会	日本経営診断学会 2017年度第2回九州部会 「人材枯渇時代を生き抜く地域戦略」	大谷次長	15人
8月8日(火)	大坪 GSI(株)	勉強会「三学会」 『「失敗の本質～日本軍の組織論的研究」を読む』	岡本次長	10人
8月22日(火)	(公財)飯塚研究開発機構	医工学連携推進フォーラム「一医療・介護現場における口腔ケアのニーズを製品化へ」	原口研究員	40人
8月25日(金)	久留米広域連携中枢都市圏 推進協議会 産業振興 WG	地域経済分析システム(RESAS)の活用事例等についてー久留米広域連携中枢都市圏(4市2町)の分析報告ー	大谷次長	21人
8月25日(金)	久留米市産業振興協議会 「企業の成長支援」推進グループ	久留米市産業のRESAS分析、及び支援の方向性	大谷次長	22人
9月13日(水)	㈱福岡リアルティ	九州・福岡の経済・産業動向と福岡市内における 宿泊状況について	片山次長	50人
9月14日(木)	北九州商工会議所(運輸交通部会)	北九州商工会議所運輸交通部会卓話会 「道を生かす～九州の道路ストック活用調査より～」	藤井次長	26人
9月20日(水)	四国アライアンス	「新幹線を活かした四国の地域づくりビジョン調査」 視察説明	大谷次長	11人
10月12日(木)	(独)日本学術振興会 第 175委員会	日本学術振興会第175委員会 化合物薄膜太陽 電池分科会 研究会	藤井次長	28人
10月16日(月)	福岡県トラック協会	物流セミナー「九州経済の動向と今後の見通し」	柿野研究員	250人
10月17日(火)	福岡県 企画・地域振興部 調査統計課	地域経済分析セミナー「『ひと』の出生・移動にみる 九州・福岡経済の構造」	片山次長	70人
10月28日(土)	総合研究フォーラム	九州経済 AtoZ	大谷次長	50人
11月14日(火)	西日本ユウコー商事(株)	博多ロータリークラブ 卓話会	藤井次長	52人
11月16日(木)	九州ビルヂング協会	九州ビルヂング協会 11月例会	大谷次長	50人
11月16日(木)	九州大学	心理学的思考法演習	清水研究主査	10人
11月19日(日)	九州大学ビジネススクール	平成29年度九州大学ビジネススクール社会連携 事業「経営幹部のための短期エグゼクティブ・プログラム」	岡野部長	20人
11月21日(火)	全国生コン工組連九州地区 本部	全国生コンクリート協議会 九州大会	片山次長	250人
11月27日(月)	玄友会勉強会(堤田福岡市 市議)	来年度の経済見通しについて	高木理事長	50人

11月27日(月)	(株)三広	九州・山口 70歳現役社会推進大会 福岡県大会 パネルディスカッション「エイジレス時代の到来～ 豊かな長寿社会に向けた現状と課題とは？」	岡野部長	580人
12月5日(火)	日本電機工業会	第95回企業研究会「2018年九州経済の見通しに ついて」	柿野研究員	20人
12月8日(金)	(株)電通九州	Uターン人材を FUKUOKA の活力に。～はじめよう 「東京卒業プロジェクト」	小柳研究主査	100人
12月8日(金)	三井物産ケミカル(株)九州支店	三井ケミカル会「人材枯渇時代を生き抜く地域戦 略」	大谷次長	60人
12月10日(日)	(一社)日本ヒープ協会	国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同 参画推進事業シンポジウム＝パネルディスカッショ ン×ヒープカフェ働きやすい地域は暮らしやすい 「九州男女」の共同参画～ワーキングスタイルか ら考えるまちづくり～	原口研究員	120人
1月10日(水)	北九州市立大学	環境都市論	松嶋研究主査	60人
1月22日(月)	大分県・特定非営利活動法 人大分県地球温暖化対策協 会	太陽光発電設備の施工・保守点検等スキルアップ 研修会「太陽光発電3R事業の挑戦」	藤井次長	40人
1月23日(火)	福岡県産業・科学技術振興 財団	ふくおか IST IoT ニーズ紹介・意見交換会	中川研究主査	26人
1月29日(月)	独立行政法人情報処理推進 機構(IPA)	自治体職員のための IoT 導入促進セミナー	岡野部長	80人
1月30日(火)	日本人材派遣協会 九州地 域協議会	賀詞交歓会講演「2018年度九州経済の見通し」	柿野研究員	46人
2月2日(金)	九州グローバル人材活用促 進協議会	「九州の企業の人材確保を考える！」Work in Kyushu シンポジウム	大谷次長	90人
2月16日(金)	福岡県経営者協会	経営者協会セミナー	柿野研究員	34人
2月20日(火)	下関港湾協会	下関港湾協会懇談会「地域課題解決に向けた IoT 技術の活用について」	岡野部長	150人
2月22日(木)	(一社)九州地域づくり協会	第4回地域づくり政策セミナー 未来の九州を支え るインフラ「これからの九州に必要なもの」	藤井次長	316人
2月24日(土)	NPO 法人日本FP協会(日本 ファイナンシャル・プランナ ーズ協会)	NPO 法人日本FP協会創立30周年記念講演&交 流会 in 福岡	岡野部長	300人
3月6日(火)	博多ロータリークラブ	博多ロータリークラブ例会「2018年版九州経済 白書」	大谷次長	50人
3月8日(木)	オービック	オービック情報システムセミナー「2018年版九州 経済白書」	大谷次長	40人
3月14日(水)	住友二水会	九州経済の構造・見通しと 2018年のトピック	大谷次長	40人
3月22日(木)	(公財)福岡県産業・科学技術 振興財団	IoT ニーズ紹介・意見交換会「最新技術を活用した 農業ビジネスと今後の展開」	中川研究主査	40人